

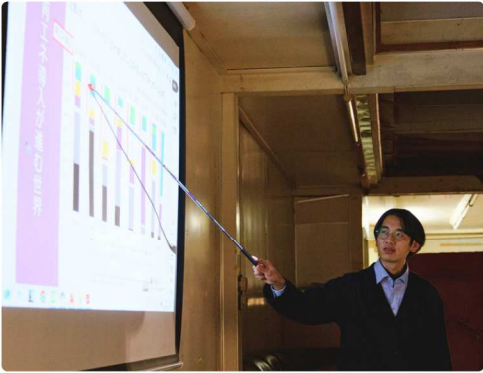
📌 環境×まちづくり！地域の活動家と院生の相互学習と共創のプログラム

域学連携の新形態？
院生と地域で新たなコラボを！

10年以上域学連携（地域と大学の連携による地域づくり活動）に取り組んできた洲本市ではありますが、専門知識を持った博士後期課程院生との連携事業は数少ないです。本事業はその新しい形を探るべく、環境政策をテーマに洲本市本町7丁目の旧タケダ玩具店で本プログラムは実施されました。高校生も含む地域住民、院生合わせて14名が集結しました。



📌 DAY1：院生講師による講演



3名の院生講師が
環境政策の最先端を講演！

プログラムのはじめに京都大学経済学研究科に属する3名の院生講師より、世界の環境問題への取り組みや先進事例を交えた講演を行いました。会場からは「非常にわかりやすく、おもしろく聞けた」や「再エネが行政の事業費に使える可能性を知った」などの感想が上がりました。

📌 DAY1：地域側講師によるエクスカーション

環境とまちづくりの現実を
地域実践家講師がアテンド！

エクスカーションでは中川原地区のため池ソーラーパネル、安乎地区の竹林、市街地の商店街・よりまち荘を体験を交えながら視察しました。3名の地域実践家講師のお話はとても興味深く、院生講師からは「実際の取り組みを伺うことで、問題を身近に感じた」や、「事業は時としてはよい意味で流れで進むことがあることに気づいた」という感想が上がりました。



📌 DAY2：環境×まちづくりの事業アイデアを考えるワークショップ



議論が白熱！
新規事業アイデア2つ登場！

ワークショップでは朝から夕方まで、2チームに分かれて新規事業アイデアを作りました。ワークショップでは講師・参加者のそれぞれの意見が組み合わさり、移住者向けの断熱ハウスのモデル事業と再エネを使ったレンタサイクル事業のアイデアが生まれました。今後洲本域学連携研究所は今後実装を進めてまいります。

すもと未来アイデア&エコまちづくりプログラム

令和6年度ひょうごボランティアプラザ地域づくりNPO助成事業

2025年1月25日～26日